

■地域医療構想調整会議における施策等に係る主な意見（第1回～第4回）

参考資料2

病床機能の分化				病床機能の連携	疾患別					救急	在宅医療等	医療従事者の確保・養成	その他	
高度急性期	急性期	回復期	慢性期		がん	急性心筋梗塞	脳卒中	肺炎	大腿骨骨折					
	現場感覚では急性期は満床で、病床が足りない。地域の整備状況も見つつ進める必要がある（県西）	回復期転換の補助金は、もっと周知が必要（横浜）	地域の人が慢性期のベッドに入れなくなる困る。看取りや在宅の体制構築やかかりつけ医がどのくらい増えるか考えつつ病床数を見て行く必要がある（県西）	横須賀・三浦は、比較的大きな中核病院の周りに中小病院が点在しており、地域連携を取りやすい体制にはなっているのでも、サポートをしてもらいたい（横須賀・三浦）	がん診療連携拠点病院の強化など、大病院を中心にがんの診療体制を強化していく必要がある（湘南東部）	急ぐ疾患の急性心筋梗塞や脳卒中については、自己完結率を上げるべきで、それに繋がる施策に取り組む必要がある（湘南東部）			高齢者が増えると、誤嚥性肺炎と大腿骨骨折が増える。それをバックアップするのは高度急性期ではなく急性期や回復期など地域密着型の医療である（県西）	救急医療の体制がしっかりしていることが強み。今後もその地域の強みは継続させたい（横須賀・三浦）	地域の人が慢性期のベッドに入れなくなると困る。看取りや在宅の体制構築やかかりつけ医がどのくらい増えるか考えつつ病床数を見て行く必要がある（県西）	看護師養成は医師会立の看専でも行っていく。今後は基金活用を検討してほしい（横浜）	看護師不足であるため、准看護師も含めて養成すべき（横浜、相模原）	
		回復期を増やすためには、地域包括ケア病棟を増やすためのアプローチが必要（湘南東部）	国が療養病床を削減する流れの中で、慢性期の充実・維持をどのように図るか考える必要がある（川崎）			脳卒中の医療提供体制の構築が課題（県西、相模原）				産科救急が抜けているが、急性期としては欠かせない（県央）	訪問歯科だけでなく、患者が診療所で受療できるような送迎などのサポートがあるとよい（県西）	認知症患者が増大するが、専門知識が必要なため、対応できる医師の確保を検討してほしい（県央）	県民や患者の視点での施策を盛り込むべき。医療機関の適正受診に向けた周知やサポートも必要（横須賀・三浦）	
		病院に対して回復期への転換のメリットを伝えるような取組みを行うべき（湘南東部）									骨折や肺炎の大多数は、認知症を持っており、精神科病床の活用など認知症対策の検討はしていくべき。数値としては入れ込めないかもしれないが、議論として重点をおくべき（相模原）	県内の4医科大学だけでなく、全国どこの大学であっても県内病院に勤務するなら奨学金を出すという制度を作してほしい（県央）	周産期と小児についても地域医療構想で明記してほしい（相模原）	
											精神科病床の検討は、地域医療構想では対象外となっているが、在宅医療では、認知症患者がかなり増えることが想定される。精神疾患や認知症のことも踏まえて施策を考えるべき（相模原）	総合診療医などを目指す医師を育成してほしい（県央）	医療機能の分化を進める上では、病院だけでなくどの病院でどのような医療が受けられるのか市民に向けた普及啓発が重要（湘南東部）	
											在宅医療の多職種連携は重要であり、今後も取り組むべき（湘南東部）		医療従事者をどう養成していくのか。看護師の復職の仕組みや院内保育所整備のことも含めたらどうか（県西）	保構想に医療費適正化の視点を含めてほしい（川崎）
											専門職種だけでなく、住民が在宅医療に積極的に関わるよう普及啓発などのアプローチが必要（湘南東部）		看護人材だが、平塚までは就職先として選ぶが、若い人は都市部へ行く。看護師の定着策を考えないといけない。29年度から小田原に看護学校ができるが、学生が地域に入りやすい対策をとってもらえ（県西）	
											介護する家族の負担軽減に向けたサポートが必要（湘南東部）		今後増加する医療ニーズに対応した医師の養成・確保が必要（横須賀・三浦）	
											在宅医療の急変時対応として、急性期機能のバックアップが重要（県西）		病床整備だけでなく、看護師を含めた医療従事者の養成が大きな課題（横須賀・三浦）	
											在宅医療について、地域包括ケアシステムとセットで考えるべき（県央）		医療従事者の数だけでなく質の向上に向けた施策が必要（川崎）	
											がん患者などの無菌調剤室など、設備整備に関する施策も盛り込んでもらいたい（県西）		理学療法士や作業療法士などのリハ職種が不足している印象。リハ職種の養成に向けた取組みの強化が必要（湘南東部）	
													医療従事者の育成を行う講師の養成が必要（湘南東部）	
													将来の目指すべき姿に合わせて医療従事者の必要数も考慮する必要がある（横須賀・三浦）	
													医療介護従事者の確保について現実的な分析が必要（推進会議）	
													地域枠は大学や公立病院にしかないシステム。民間病院にも広げてほしい（県央）	